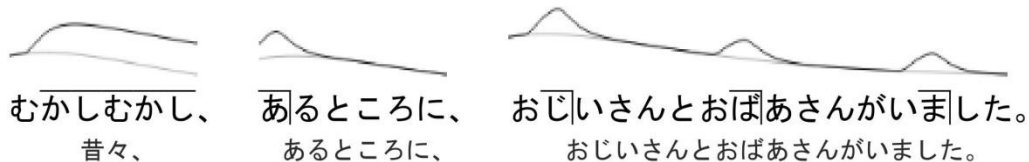


朗読の練習をしてみよう

朗読のポイント①イントネーション

- ・ 「イントネーション」は、文全体の声の上がり下がりのことです。イントネーションを線（ピッチカーブ）で表わした原稿を用意しましたから、それを見て練習しましょう。カーブが上がっているところは上げて、下がっているところは下げて読みます。

例)



（「かさじぞう」より）

朗読のポイント②区切りマーク

- ・ 話すときには、ちょうどいいところで休む必要があります。例の「/」が、休むところを表します。

例) 誰の顔も見ずに/お父さんは/

まっすぐ/前を見て/ごはんを食べている。 （「おとうさん」より）

- ・ 「//」は、「/」より少し長く休みます。

例) 見渡すかぎりの/金色の稲穂// （「わたしを束ねないで」より）

区切りマーク（/）をつける位置は、読む速さや強調したい内容などで、違います。また、人によっても違います。どこに区切りマークをつけるか、読みやすいところを考えて練習しましょう。

練習方法

1. 音声を聞いてみよう

ピッチカーブが書いてある原稿を見ながら、音声を聞いてみましょう。

2. 真似してみよう

音声を聞いて、そのイントネーションを真似してきましょう。

そのとき、1つの区切りや、1つの文で音声を止めて、少しずつ練習しましょう。

3. 録音してみよう

2の練習をたくさんして、上手に読めるようになったら、自分の朗読を録音してきましょう。そして、ピッチカーブを見ながら自分の録音を聞いて、チェックしましょう。

☆東京館の時間に先生に聞いてもらったり、友達や日本人の学生と一緒に練習したりしてみよう。